インターンシップの活動コレクション～東通村のヒトとふれあう～








８月１７日から始まった布施さん・酒井さんのインターンシップは、順調とは言えないスタートでした。それぞれの大学等の活動が重なり、２人が揃う日がなかなか無く、記事の方向性や取材対象地区・対象者が決まらず、お互いが悩む期間がありました。

２人が揃ってからは、活動イメージの共有がスムーズに行われ、取材対象者との日程調整や写真撮影、図鑑レイアウトの決定や掲載内容の調整等、さまざまな活動を短期間で行いました。

インターンシップを振り返ってみて、２人はこう話してくれました。

【布施】　なかなか２人揃わない時期もあり、完成できるかとても悩んだ日もありました。ただ、酒井さんが毎日明るく接してくれ、真剣に取り組む姿を見て、自分も負けていられないと奮起しました。このインターンシップを通して、東通村の方々と関わり、人の暖かさを肌で感じることができました。

【酒井】　最初からうまく行ったインターンシップではありませんでしたが、布施さんと協力して図鑑を完成させるという目標に向かって、沢山の方々の協力を得ながら活動できたことは、今後の人生の糧となると思います。このインターンシップで学んだことを決して忘れず、残りの学生生活を全うしたいと思います。

【布施・酒井】村内イベント（防災訓練）への参加やインタビューなどを行い、有意義な１ヵ月となりました。いつかまた、東通村を訪れ、食や自然を堪能し、取材にご協力いただいた方々と交流したいです！

1ヵ月のインターンシップの成果を住民・関係者等に報告






９月１５日、約１ヵ月の成果を発表する機会として、インターンシップ成果報告会を開催しました。

当日は、取材に協力いただいた方をはじめ、多くの方にご来場いただきました。

報告会の中盤、成果品として来場者に【ヒト図鑑】の完成版をインターン生から手渡しました。完成版を受け取った取材にご協力いただいた方々からは、感想をいただきました。そのうち笹竹さん（石持地区）は「２人に取材を受けた時は、どんなものが完成するか楽しみでした。今完成品を見て、こんなに素敵なものに私を載せてくれて嬉しい。この図鑑は私の宝ものになりました。」と感想を話してくださいました。インターン生の２人は「こんな素敵な言葉をいただけたこと、誇らしく思います」と、充実した表情を見せました。

この【ヒト図鑑】は、村ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください！